

福祉施設が取り組む 農福連携

NPO法人ウィズハートさく
佐久の泉共同作業センター
柳澤歩

法人・事業所理念

- 障がいをもつ皆さんが、住み慣れた地域で希望と生きがいをもって暮らすために、ともに歩む
- 誰もがこの地域で暮らせてよかったと言える地域社会の実現をめざす
- いきがい、やりがい、はたらきがいを大切に
- 利用者定員25名 職員13名

昨年、法人20周年を迎えました。

年間作業

作業プログラム①

調理作業

毎週 水・木・金曜日
弁当製造
ボリュームたっぷり
みそかつ弁当



年間作業

作業プログラム②

製袋作業



**(株)会社鈴与マタイ様より
下請け作業 1日2,000枚程の
クラフト紙袋を製造**



その他の作業

- 清掃作業（佐久市市役所清掃 代行車清掃）

年間作業

- 自社の畑（じゃがいも、ニンジン、落花生（おおまさり））

春～夏季の作業

- 施設外就労（佐久市市役所売店 ピーマン選別 ミニトマトの収穫）

年間作業

夏季作業

はじめたきっかけ

• 2023年3月にセルフセンター協議会 須江様よりご紹介頂く

①「利用者にとって新たな作業になればよい」

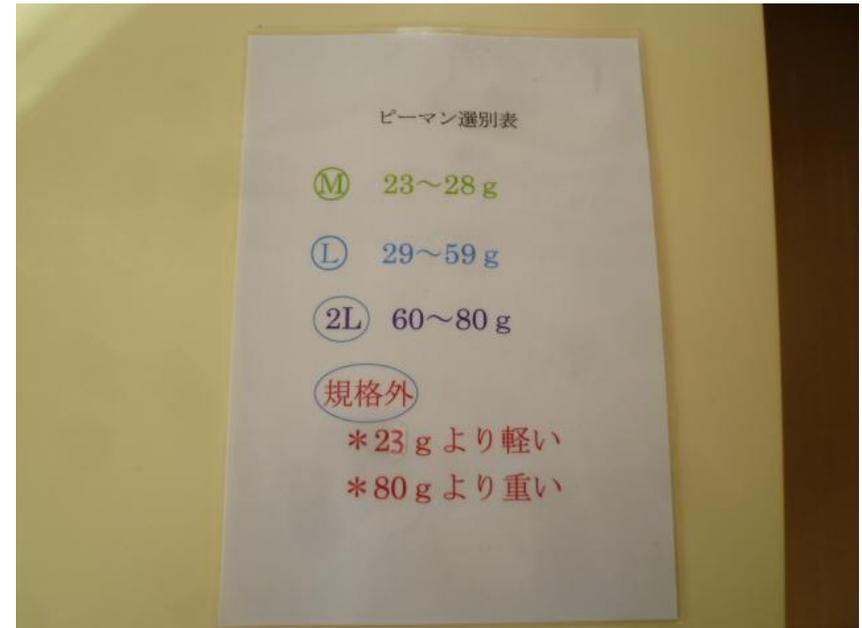
②「障害特性に合った作業を提供したい」

③「工賃アップを図りたい！」

④「やってみて取り組めなかったらお断りする」

1年目 ピーマン計量作業

- 作業所内で活動
- ピーマンは1日約40ケース(5kg)
- 3交代制で1日12人ほどの利用者が携わる
- 誰でも携われるように計量表を作成する
- 計量するピーマンを運んでいただく



1年目 振り返りと課題

・振り返り

- ①涼しい空間での作業提供
- ②少人数で活動
- ③わかりやすい作業内容
- ④一人作業ができる
- ⑤受け取り時間は、朝礼や昼時間を外す調整をする

・課題

- ①毎日の作業場セッティングと片付け
- ②ピーマンが届くまでの時間に心配してしまう声
- ③作業後に部屋に残ってしまうピーマン臭

R5年7月～10月まで
ピーマン作業収入
131,950円

2年目 ピーマン選別作業



- 2024年度は畑近くの遮光ハウスで選別作業がスタート
- 7月～10月まで 1日 5時間 2交代制（シフト制）
- 1箱の単価（100円）を伝え、モチベーションに繋げる

R6年7月～10月まで
ピーマン作業収入
¥390,000

2年目 振り返りと課題

・振り返り

①トイレの設備がなく、市へ相談

ハウス近くの総合福祉センターのトイレを使用させてもらう

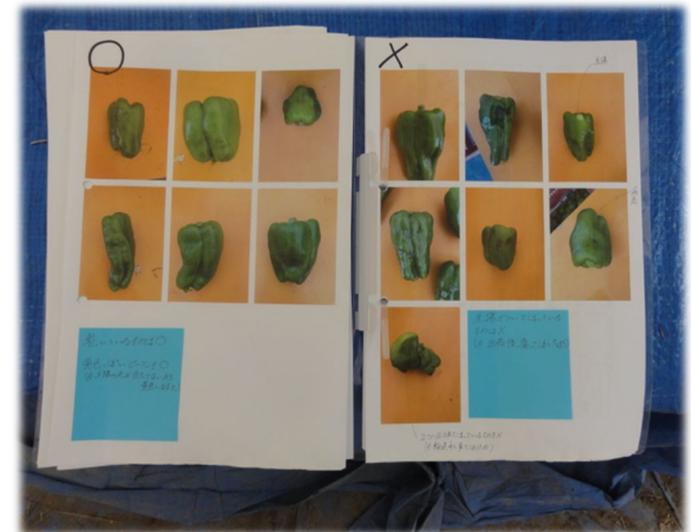
②準備の手間が省け、タイムロスなく携わる

③写真付き選別基準表を作成し、自信が持てる支援を提供する

・課題

①人数調整に苦戦する

②熱中症を注意するよう心配の声が届く



利用者との振り返りから届いた声

- 農業＝収穫、大変ではなく、計量・選別 これならできる！
- 外の作業は気分転換になる。作業をする場所が変わってよい。
- 農家さんと話ができ、役に立っていることが嬉しい
- 100箱仕上げられたときは、嬉しかったな
- やりやすい選別の仕方を工夫していった。
- 自分自身のペースで取り組める

職員の振り返り 気づき

- 前向きな声かけに努める
- 進んで活動に取り組む姿が見られ、うれしかった
- 達成感をもって活動できていると感じた
- 自信に繋がっている

3年目に向けて 未来へ

・3年目に向けて

- ①熱中症対策を考え、協議していかなければならない。
助成金などを活用できないだろうか??
- ②職員がおこなっている作業を切り出し、利用者へ提供する
- ③今年度よりも収益アップ!
- ④他事業所との協力や交流を図りたい

・未来に向けて 利用者と農園主体の活動へ

- ①目標を持って活動できる支援をおこなう
- ②リーダーの育成
- ③利用者が主体となり、自信をもって活動ができるように支援する

ご清聴ありがとうございました。